



# クラス通信



木田幼稚園  
令和2年12月号

先日までの暖かさが嘘のように、舞い散る枯葉や積雪のニュースに本格的な冬を感じるようになりました。コロナウイルス感染拡大に心配する1年でしたが、あっという間に今年も残りわずかとなりました。2学期は「保護者参観」「体育発表会」「学園まつり」「芋ほり」「おにぎりパーティー」「音楽発表会」などたくさんの行事を行ってきました。多くの行事を通して体力作りや創造性を養い、達成感を味わいながら確実に成長してきたお子さんたち。

楽しみにしている冬休み、お正月はもうすぐです。

コロナウイルス感染拡大防止のため、ご家庭での温かい雰囲気の中、ゆっくりと休養しバランスの良い食事や質の良い睡眠をとって始業式に元気なお顔が見られる事を楽しみにしています。

## ☆成道会

8日(火)はお釈迦様がお悟りを開かれた日です。幼稚園でも当日、心ホールで「あけのみょうじょう」のビデオ鑑賞をしたり、心ホールで静かに参りをしました。理事長先生よりお釈迦様のお悟りの事や、三法印「諸行無常」「諸法無我」「涅槃静寂」について教えていただきました。

## ☆音楽発表会

19日(土)1年間の音楽活動の集大成を発表する音楽発表会を行いました。各クラスの歌唱・合奏・MV(ミュージカル・ムーブメント)はいかがでしたでしょうか?お子さんにとっても身近なまどみちおさんのメドレー、各クラスの歌唱は情景を思い浮かべながら歌い上げ、合奏ではたくさんの楽器を毎日練習し、楽しく演奏しました。MVでは身体表現の中で、お子さんたちが役に合った動き・セリフなどを考えながら作り上げ、大好きな創造的な音楽活動の一つになりました。子山羊は元気いっぱい可愛く、ライオンの時には怖い声、大きな体、爪をイメージすることや孫悟空はいたずら好きな性格から一変し勇敢で機敏な姿など、それぞれの年齢・配役に応じて演じる姿を見て頂けたのではないかと思います。

## ☆ほし組

今月は音楽発表会に向けた取り組みとして楽器遊びやミュージカル・ムーブメントを主に取り組んできました。初めはなかなか自信が持てず、小さな声で台詞を話したり友達の様子を真似していたお子様達も日を重ねるごとに大きな声になり「孫悟空はもっと大きく手を広げよう」など動きも大きくなり表情からも自信が見られるようになりました。発表会当日のお子様たちは良い緊張感の中、最後の発表会(歌・合奏、ミュージカル・ムーブメント)に意欲をもって臨み、終演後は「ドキドキしたけど頑張ったよ」「お母さんたちが泣いて感動しちゃった」という感想が聞かれました。この音楽発表会を通して、増々クラス内のお子様同士の絆が深まったように感じます。



年が明ければよいよ園生活も残り3カ月。一日一日をお子様たちと大切に過ごし楽しい思い出を沢山作ります。

## ☆ぺんぎん組

自粛当園だった 1 学期とは打って変わってたくさんの方の行事、専任講師による指導など毎日が充実して過ごした 2 学期。お子さんたちにとって「出来なかった事・初めて行う事」が「大好きな活動になった。手順を覚えることができた」事へと変化し成長する姿が多くみられました。年中組になり新たに始めた合奏「チキ・チキ・バンバン」ではタンバリン・鈴・シンバル・ピアニカなどの楽器だけではなく新たな試みとして、バスウッドブロックバー・ギャザリングドラム・簡易ティンパニー・バスウッドドラム・コンサートフロアバスドラムなど多くの打楽器を間奏中の演奏に加えてみました。ぺんぎん組のお子さんたちに合った元気いっぱいの曲調で、気分が盛り上がり思わず演奏が先走ってしまうこともありましたが本番は緊張した表情も見られましたが一生懸命頑張りました。



## ☆りす組

初めてのミュージカル・ムーブメント「狼と 7 匹の子山羊」の取り組みの中では、子山羊の役を演じる事や心情を表現する楽しさを存分に味わったお子さん達。クラス内では「子山羊さんは元気いっぱい歩くんだよね」「狼に見つからないように小さくなって隠れるんだ」といつも一人ひとりが張り切って演じる姿が見られました。本番 1 週間前より心ホールでのリハーサルが始まると「お客さんの前だとドキドキしてちょっと恥ずかしかった」という子終えも聞かれながらも本番に向けて少しずつ自信に繋がっていく様子が見られました。そして本番当日。舞台裏では少し緊張した表情も見られましたが元気いっぱいの子山羊を演じました。この経験が次年度の活動へと繋がっていくことを願っています。



## ☆きりん組

2 学期も終了し、お子さん達は不安や涙の多かった 1 学期と比べると様々な活動に意欲的に挑戦する「力」が大きく育ちました。今月は今学期 1 番大きな行事である「音楽発表会」に向けても毎日少しずつ経験を積み、担任の「当日は全員が笑顔でお客様の前に立てますように」との願い通りどのお子さんも立派に発表することが出来ました。また、園生活にも慣れてきた中で落ち着いた生活が出来るようになったことで知育活動の幅も広げ「漢字仮名交じり絵本」「書写文字指導」にもお子さん達は一生懸命取り組みました。学期末に持ち帰り致しましたのでご家庭でも学びの機会を作ってみてください。3 学期も無理のない中で「脳の臨界期」を後押ししていきます。

冬休みは「1 年の締めくくり」と「新しい年の始まりの区切り」の時期です。成長し気力が充実してきたお子さん達が年末の清掃や正月準備を体験する良い機会でもあります。コロナ禍の毎日ですが外出を控える機会を利用して、家族の一員として協力する喜びや役割を感じる中で「日本の文化」を親から子へ伝える「場」を作ってあげてください。園生活で培った生活習慣を継続し元気で楽しい冬休みを過ごしてください。

